



2012年7月19日

総合学会「日本科学者会議 総合学術研究集会」を

岡山で初めて開催

<概要>

- ・ 日本で唯一の自然科学系・人文科学系・社会科学系の総合学会「日本科学者会議」の定期研究集会（第19回総合学術研究集会）を、9月に岡山大学で開催。
- ・ 震災・原発事故後初となる全国の自然・人文・社会科学系 科学者、技術者の大規模研究集会。市民も交えて、大討論を。

<本文>

- ・ 「日本科学者会議 総合学術研究集会（第19回）」が、9月14日（金）～16日（日）に、岡山大学津島キャンパス一般教育棟を会場として開催されます。
- ・ 「日本科学者会議」は日本唯一の自然科学系・人文科学系・社会科学系 総合の大規模学会で、全国に約5000人の会員がいます。
- ・ 「総合学術研究集会」は2年に一度全国回り持ちで開催され、文系・理系を問わず各学界の著名な学者が一堂に会して研究報告や議論を繰り広げます。
岡山では初の開催で、約400名から500名の参加を見込んでいます。
- ・ このたびは3.11東日本大震災・福島原発事故後初めての研究集会で、その議論の内容は今後の日本の学術研究の方向性を左右するものであり、社会から大きな注目を受けています。
- ・ 市民や学生との交流のプログラムも設けており、岡山大学生や市民が最先端の科学に触れる、学都岡山ならではの好機会になります。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授

稲垣 賢二 : 本集会実行委員長

(電話番号) 086-251-8299

(FAX番号) 086-251-8299

(メール) kinagaki@okayama-u.ac.jp



PRESS RELEASE

別紙資料

◎このたびの総合学術研究集会の総合テーマ

「持続可能な社会への変革をともに」

◎議論される主な論点

- ・ 震災からの復興に、科学はどう貢献できるか。
- ・ 原発なき社会をつくるためには、何をするべきか。
- ・ 持続可能な社会をいかにして実現するか。
- ・ 科学者は次世代をどう教育するかーESD（持続発展教育）を考えるー。
- ・ 古代吉備の巨大古墳はなぜ作られたか（開催地岡山の特別分科会）。

* 詳しくは、別にお配りした「日本科学者会議第 19 回総合学術研究集会」のチラシ及び 3rd サーキュラーをご覧ください。